

令和6年度第2回 農林水産部試験研究機関の試験研究に係る外部評価委員会 評価結果

【評価】

(事前)

- ◎: 研究を実施すべき(目安: 合計点12点以上)
- : 委員の意見等を反映して研究を実施すべき(目安: 合計点9～11点)
- ×: 研究を実施すべきでない(目安: 合計点9点未満)

(事後)

- ◎優れた研究成果である。(目安: 計が12点以上)
- 研修成果として概ね妥当である。(目安: 計が9点～12点未満)
- ×研修成果が乏しい。(目安: 計が9点未満、又は1項目でも1点評価があるもの)

試験場名	区分	試験研究課題名	合計点	【評価】
栽培漁業センター	事後	アカモク資源持続的利用技術開発	9.9	○
		畜産汚水処理施設の運転管理遠隔監視システムの開発	9.6	○
中小家畜試験場	事前	「鳥取地どりピヨ」の生産効率向上試験	10.7	○
畜産試験場	事後	高能力種雄牛産子の子牛育成技術の確立	12.7	◎
		鳥取和牛ブランド向上試験	11.7	○
		体外受精卵技術を活用した和牛増頭と育種改良技術の確立	12.6	◎
園芸試験場	事前	温暖化に対応した新たな果樹品目・品種の創出および栽培方法の確立	11.1	○
	事後	市場競争力のある鳥取オンリーワン園芸品種の育成	11.9	○
		鳥取のナシ産地活性化を目指す栽培技術の確立	11.6	○
		「輝太郎」を核としたカキの産地力強化に向けた栽培技術の確立	11.4	○
		中山間地園芸作物の安定栽培技術の確立	11.7	○
		鳥取の花きとシバ栽培を支える安定生産技術の確立	12.0	◎
		気候・風土に適応した砂丘ラッキョウ・ナガイモの安定生産技術の確立	10.1	○
		野菜主要品目の生産拡大と高品質生産技術の確立	11.1	○
農業試験場	事後	「きぬむすめ」の安定・良食味米生産を目指した栽培管理技術の確立	11.3	○
		水田農業に適用できるスマート農業技術の確立	9.9	○